

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	西東京市南町 3-6-9 河合ビル 1 階
園名	南町 pocapoca 保育室

1. 活動のテーマ

<テーマ>

『食』

<テーマの設定理由>

好き嫌が多く、野菜など苦手な食材を嫌がるなど、偏食が目立つため、少しでも食に興味を持って食べられる食材が増えるように、食をテーマに決めました。

2. 活動スケジュール

日々の活動の合間に、2 歳児 4 名と何を作ってみたいのか話し合い、カレーライスを作る事に決まってからのスケジュール。

2 月 2 4 日(火) 1 0 時～ 田無リヴィンに買い出し

2 月 2 6 日(木) 1 0 時～ カレーライスづくり開始

1. ご飯を炊く
2. 材料の皮むき
3. 包丁で材料を切る
4. 鍋で炒める
5. 水とルーを入れて煮込む
6. ご飯とカレーを自分でお皿によそう
7. 作ったカレーを食べる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

IH コンロ・包丁・ボウル・カレーライスに必要な食材(カレールー・にんじん・じゃがいも・たまねぎ)
また、環境の設定としては、落ち着いて活動が出来るように職員を一人増やして行った。

4. 探究活動の実践

・何を作るか、また、作るものには何が入っているのかを考える。

・スーパーで食材を探す

<活動の内容>

1. 子どもたちと食について話し合い、何を作りたいかを考えて、その料理を作るには、どんな食材が必要かなどを話し合い。
2. 話し合いをもとに、子どもたちと一緒に食材の買い出し。
3. 買った食材を自分たちで調理をし、食べた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

食材をスーパーに買いに行った際は、担当を決めたことで、「私にはんじん」「私はじゃがいも」と、嬉しそうに言っていた。また、自分で買い物をして調理までしたので、「やりたい」と、ピーラーなどで皮むきをしたいと積極的に訴えたり、終始子ども同士で「楽しいね」と言うやりとりが見られた。また、保育者と一緒に食材の皮を剥いたり包丁で切り、一緒に作る楽しさを感じていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者気づき>

苦手な野菜などがあり、日頃は食べる事を嫌がり残食多いが、自分たちで作りたい物を考え、買い出しに行き、調理するまでを行う事で、おかわりをするくらいよく食べていた姿を見て、自分で作るという楽しい経験から、苦手な野菜も残さず食べる事が出来ていたと感じた。このような経験を通し、全て大人が提供するのではなく、子どもたちが考え、実践する経験は、子どもたちにとって貴重な経験になったと思った。